

新庁舎建設の安全を願って

益城町新庁舎建設安全祈願祭

新庁舎建設予定地(宮園)で5月15日、益城町新庁舎建設安全祈願祭が開催されました。

西村町長をはじめとした町関係者や町議会議員、町区長会、県関係者、設計・工事関係者など45人が出席。工事を担当する三井住友建設・岩永組建設工事共同企業体を代表し、三井住友建設株式会社九州支店の柴田雅俊支店長は、「新型コロナウイルス感染防止に努めながら、技術と経験を最大限に生かして、高品質の建物を造ります」と述べました。新庁舎は令和5年3月に完成予定。



㊦杭打ちをする柴田支店長 ㊦四方をはらい清める



みんなボラに加入している支援団体の皆さん

5年間の活動を今後の災害の指標に

「益城町災害支援記録誌」完成・寄贈

4月20日、みんなのボランティアステーション(以下、みんなボラ)が役場仮設庁舎を訪れ、町に「益城町災害支援記録誌『たくす』」を寄贈しました。

みんなボラは、複数の支援団体が加入する、熊本地震後立ち上げられた組織で、本町にもさまざまな支援を行いました。同記録誌は、その活動の記録がまとめられており、今後の災害の支援に役立てられるものです。

みんなボラを代表して、くまもと友救の会松岡亮太代表が、「次なる希望となるよう作成しました」と話しました。

地域全体で取り組む保全管理

福原地域資源保全チーム活動が農林水産省 HP で紹介

福原地域資源保全チーム(荒川忠一代表)の活動が、農林水産省の多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」第100号に取り上げられました。

同メールマガジンは、農林水産省のホームページで、多面的機能支払活動組織紹介などの情報を月1、2回配信しているもので、同チーム地域内で非農家との相互理解が進んだ事例が評価され、取り上げられたものです。

詳しくは、農林水産省ホームページ(「農村ふるさとと保全通信」で検索)をご覧ください。



メールマガジン内で取り上げられた写真(出典：農林水産省 HP)

Pickup Plus+
今月のプラス

町出身の歌人、楠田立身さん(現在は、兵庫県姫路市在住)が、「第43回姫路市芸術文化賞」の「芸術文化大賞」を受賞しました。短歌分野での大賞は初めて。楠田さんは電話で、「偉大な人たちが受賞してきた賞を頂けてうれしい。今はコロナ禍で行き来できないが、いつか復興が進む益城町に報告したいと考えている」と話しました。